

夏休みにピリッとときく1日 2022年8月12日(金)

第63回長野県民間教育研究大会

大会テーマ

いま 現在を生きる子どもたちと創り上げる教育とは

～競争から協力・協同の学校へ～

8月12日(金) ZOOMによるオンライン開催
※県下4か所でのサテライト会場も検討中です

<タイムテーブル>

9:00	12:00	12:50	13:00	15:00	16:00
12日 (金)	分科会	昼食	開会 集会	記念講演	総会 (会員のみ)

<記念講演> **13:00～15:00**

[日本の教育の現状と課題]

講師 本田由紀氏 (東京大学大学院教育学研究科教授)

講師紹介

教育・仕事・家族という3つの社会領域間の関係に関する実証研究を主として行う。特に、教育から仕事への移行をめぐる変化について指摘と発言を積極的に行っている。主な著書に、『若者と仕事』(東京大学出版会)、『多元化する「能力」と日本社会』(NTT出版、第6回大佛次郎論壇賞奨励賞)、『「家庭教育」の隘路』(勁草書房)、『軋む社会』(河出文庫)、『教育の職業的意義』(ちくま新書)、『学校の「空気」』(岩波書店)、『「ニート」って言うな!』(共著、光文社新書)ほか。



主催 長野県民間教育研究団体連絡協議会

後援 長野県教育委員会 長野県教職員組合 長野県高等学校教職員組合 長野県子どもを守る会
長野県私立学校教職員組合連合 (公益財団法人)日本教育公務員弘済会長野支部

<分科会> 9:00~12:00 <詳細はホームページでご確認ください>

送られた ZOOM のアドレスに入ってください、ブレイクアウトルームで分科会を選択

1 国語教育と作文指導 いま、自分を見つめ、社会を見つめる機会が重要になっています。日記や作文を通して、子どもたちの本音を聞き取り、内面を育てる指導について考えます。本音を語ることが難しくなっている子どもたちに自分を表現する楽しさを感じさせるにはどうしたらいいのか？長年「信濃子ども詩集」の編集に携わってきた先生たちの実践を聞くと共に、今の国語教育への悩みについても話し合います。

2 生活指導（学級づくり・集団づくり） さまざまな生きづらさを抱えて毎日過ごしている子どもたちが急増しています。貧困、いじめ、競争などの影響から子どもたちをどう守り育てるべきか、子どもの自治的な力をどう育てるのか、難しくなってきた子どもたち同士の関係をどのように作るのか、学級づくりのポイントについて話し合います。

3 わかって楽しい算数・数学教育 子どもたちの「わかった」という歓声が上がる楽しい授業こそ、算数、数学が理解できる近道です。みんなで教材・教具の交流や実践の交流をしましょう。【担当：長野県数協】



4 長野県の教育を考える 今話題となっている GIGA スクール構想。一人一台端末の効果や、学校における維持修理などで課題は山積みです。教育条件整備と教育効果の両面からこの問題を考えてみたいと思います。皆さんの学校の「ここが変」「ここが良い」を出し合い考えてみましょうか。

5 元気の出る障害児の教育と子育て 育てるのが難しい子どもたち。でもその子に寄り添って、より発達を保障していくためにはどうしていったらよいのか、実践から学びたいと思います。

☆申し込み方法

長野県民教 で検索してください。

夏の大会申し込み をクリック

Google Form に必要事項を記入



*大会 5 日前までに参加に必要な ZOOM アドレスをお送りします。

*参加料は無料です。会員の方は会費の納入をお願いします。

ホームページからの申し込みができないときは、事務局までご連絡ください。

県民教事務局 TEL【FAX 兼】 0263-83-4239 宮川 康浩

Eメール miy-yas@hotmail.co.jp